

2021年 5月吉日

炎症性腸疾患をもつ就労中ないし就労経験のある方

調査研究へのご協力のお願い

新見公立大学大学院看護学研究科看護学専攻
修士課程 大学院生 安原 奈那

新見公立大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程の安原奈那と申します。

私は看護師として、炎症性腸疾患をもちながら就労している方の就労継続できるような支援をしたいと難病患者就職サポーターを職業としています。

この度、新見公立大学大学院生として、“炎症性腸疾患患者の就労継続に関する要因と就労支援”のテーマで研究に取り組む事となりました。本研究により、炎症性腸疾患をもつ方の就労継続の要因と、就労の継続にはどのようなサポートが必要であるかが明らかになることで、炎症性腸疾患をもつ方が治療と就労を両立しながら、職業人として活躍し、充実した就労生活や人生を送れることにつながるのではないかと考えます。

当該研究成果は、個人を特定できないようにして、学会発表や論文公表するとともに、IBD ネットワーク合同会報に掲載しご報告させていただく予定です。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査にご協力くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

【ご協力頂きたい内容】

1. 調査方法はWEBでのアンケート調査です。
2. 裏面にあります“本研究に関する説明文書”をお読みいただき、アンケート調査への協力の可否を決めてください。
3. “本研究に関する説明文書”にある Web アンケートのアドレスまたはQRコードから回答期限の2021年6月30日までにアンケートの回答をお願いします。

(連絡先) 新見公立大学大学院看護学研究科看護学専攻

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

電話番号:0867-72-0634(内線5506)

修士課程 安原奈那 E-mail:aysm1225@gmail.com

共同研究者:新見公立大学大学院看護学研究科

教授 土井英子 E-mail:h-doi@niimi-u.ac.jp

炎症性腸疾患をもつ方の就労継続に関する要因と 就労支援調査研究に関する説明

1 調査の目的

炎症性腸疾患をもつ方の就労継続の要因が明らかになり、就労の継続にはどのようなサポートが必要であるかを明らかにすることにより、支援機関の専門性を発揮した支援、ご本人のニーズを重視した治療と就労の両立支援、そして IBD 患者と職場双方に益となる支援をおこなう方法の示唆を得ることができると考えます。

2 調査の対象者

炎症性腸疾患をもつ就労中ないし就労経験のある方です。

3 調査の実施方法

- 1)調査方法：web アンケートでおこないます。
- 2)回答期間：2021年5月～6月30日
- 3)調査内容：対象者の属性、仕事について、精神的健康状態を測定する尺度、仕事と生活の質に関する満足度尺度、就労支援の現状、ニード等です。

4 倫理的配慮

Web アンケートの調査項目の最初に、この調査の同意の有無をお尋ねします。「同意します」の回答をもって、調査協力の同意が得られたものとします。アンケートに記載いただいた情報は、個人情報の保護に基づき、今回の研究目的以外で使用いたしません。また、アンケート結果をこの研究に使用するには、集計値として取り扱い、個人が特定できないように処理いたします。他詳細については、Web アンケートページをご覧ください。

5 調査に関する予測される負担や不利益について

アンケートへの回答に 10分程度の時間がかかります。

アンケート回答ページはこちら



<https://forms.office.com/r/iQiKDRkhBb>

もしくは、スマートフォンで左のQRコードを読み取ってください

